

林業体験（講師依頼可）

国立花山青少年自然の家

1 活動の概要等

森林は、わたしたちが使う木材や木の実、きのこ等を生産したり、水源となる森林をつくったり、山崩れ等の自然災害を防いだり、野生生物のすみかとなったり、ハイキングや森林浴の森として親しまれてきました、

こうした森林のはたらきがおとろえないように維持して未来に向かうことを心がけなければならないと思います。日本には森林が多いといっても人口一人あたりにすればごくわずかです。そこから最大のはたらきをうまく引き出ししていくことが必要です。

林業は、こうした森林のはたらきを維持するための一つの仕事なのです。苗木を植え、育て、人工林をつくっていきます。人工林には、木材を繰り返し生産するためのもの、水源を確保するためのもの、自然災害を防ぐためのもの等があります。

2 時期・時間

春から秋頃まで活動できます。

半日～1日

3 活動場所

青少年自然の家周辺の森林（活動場所は青少年自然の家から説明します。）

4 準備

青少年自然の家で貸し出しできる物	利用者に準備する物
無線 防蜂網 スパッツ ポイズンリムーバー ハチスプレー その他作業に必要な道具	活動に適した服装 タオル 軍手 弁当（活動時間に依りて） 帽子 稚幼樹（植えつけをする際） 救急薬品 その他必要な物

5 実施例

- ①集合（子ども農園前に打ち合わせ時間までに集合してください。）
- ②説明（講師から作業について説明があります。）
- ③道具等の貸し出し
- ④移動（それぞれの作業場所に移動します。）
- ⑤作業（グループごとに作業を行います。）
- ⑥移動
- ⑦解散

[作業内容]

【植えつけ】4～5月

「ふれあいの森」づくりにかかわって、自分たちの苗を植えることができます。

青少年自然の家で貸し出しできる物	利用者に準備する物
剣先スコップ 唐鍬	活動に適した服装 名札 稚幼樹（事前に相談してください。）

- ①穴を掘ります。

- ② 苗を入れます。
- ③ 土を少し入れて踏みしめます。
- ④ さらに土を入れて腐葉土をかぶせます。
- ⑤ 名札をつけます。

【下刈り】6～9月

苗がまわりの雑草に負けないように刈り取っていきます。

青少年自然の家で貸し出しできる物	利用者で準備する物
大がま 砥石 砥石台	活動に適した服装

- ① 下刈りします。(大がまは手前に引きます。)
- ② 交替で行います。(待っている人は近づかないでください。)
- ③ 砥石で大がまの手入れをします。

【枝打ち】9～11月

節がおもてに現れないよい木材をとるために、下の方から出ている枝を落とす作業をします。

青少年自然の家で貸し出しできる物	利用者で準備する物
手のこ 六角ばしご 枝打ちのこぎり 安全ベルト	活動に適した服装

- ① 枝打ちする木に六角ばしごをかけます。
- ② はしごに登り安全ベルトをかけます。
- ③ 手のこで幹から3cm残して下側を少し切ります。
- ④ 同じところを上から切り、枝を落とします。
- ⑤ 下から枝打ちのこぎりを使って同じように切ることもできます。

【間伐】4～11月

野菜の間引きと同じように、欠点の少ない木をより太く、まっすぐのばすために、成長の悪い木を倒して木の本数を調整します。

青少年自然の家で貸し出しできる物	利用者で準備する物
手のこ ロープ くさび ハンマー ホイッスル	活動に適した服装

- ① 間伐する木を選びます。
- ② 倒す方向を決めます。
- ③ 「受け口」を切ります。(倒す方向の下側約3分の1程度)
- ④ 「追い口」を切ります。(受け口の逆側の上の部分)
- ⑤ くさびを打ち込み倒します。(倒すときには安全確保をしてホイッスルを吹きます。)
- ⑥ 切った間伐材はどのように利用したらいいか考えましょう。

6 留意点

- ・ 服装は、ハチからの被害を防ぐために白いものがよいです。
- ・ 作業内容は、事前の打ち合わせをして活動を決めましょう。。
- ・ 火きり板と火きり杵は十分乾燥させてください。
- ・ 火きり杵は、杉材より桐やバルサ、紫陽花等が適しています。